

粉末タイプ根張り促進型肥料

(芝生向けパンフレット)



ライゾー

8-4-0 アミノ酸・糖類・ビタミンなど含有

スペインのキミテック社が植物由来の天然資材を独自技術で特殊発酵、乾燥処理を行った根張り向上を目的とした肥料です。芝生が本来持つ免疫性を引き出し、高温・乾燥・低温や低日照などのストレス抵抗性を高める効果があります。

[特長]

- 特に根張り向上に優れた新世代の「バイオスティミュラント」肥料です。
根張りに効果があるアミノ酸及びビタミン類と糖類が根の分根を促し、根量を増加させると共に植物が本来持っている力を引き出して健全な生育を促します
- 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
張芝直後、播種後、撒き芝後、高温・低温・低日照・過湿などで弱った根の再生、競技直後(傷んだ根の再生)、春先や秋の新根の伸長時の使用は特にお勧めします。
- 界面活性剤の「H2 プロリキッド」、液肥の「スポーツマスターシリーズ(粉末)」や「グリーンマスター リキッドシリーズ」との混合使用はお勧めです。

[登録保証値]

窒素全量	8.0 %
く溶性りん酸	4.0 %

主成分

アミノ酸	58 %
りん酸	4 %

正味重量	1kg(ボトル入り)
施肥面積(1kg)	10,000~5,000 m ² /kg

対照区

ライゾー区



ライゾー試験(千葉県) ベントグリーン 8/21 写真

6/5 より2週間隔で施肥
*施肥量 0.1g/m²
*希釈液水量 150ml/m²
施肥後の散水は行わず

ライゾー区は高温時でも根が分根しながら伸長し、根毛と共に根量が多くなっています。

2019 年



1kg 入り



発売元

株式会社 ハイポネックスジャパン
グリーン&ケミカルチーム

<https://www.hyponex.co.jp>

本社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-1-9 TEL 06-6396-0801

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で散布します。

* 1㎡当りの施肥量は0.1～0.2gで、希釈液を1㎡当り60～1,000ml散布します。

2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。

霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時・日照が強い時の施肥は避けてください。

★お勧めの使用方法・例 (初回使用から7～14日後に続けて連続して使用すると更に発根を促します)

- 張芝直後に施肥し、7～14日後に2回目を施肥します。分根を促すと共に根量を増やし活着を早めます。
- 生育期間中に根に問題が起きた時に与えると特に効果的です。
- 生育期間中、1ヵ月毎に定期施肥することで、根に問題が発生するリスクを減らします。
アミノ酸入り有機活力液肥の「ボンバルディア」との併用は、芝生の活力向上にお勧めです。

[施肥をおすすめする時期]

春	梅雨前	夏	秋	冬
◎	◎	◎	◎	△ *注

*注 低温でも芝生が生育しているときは施肥可能です。

霜が降りるような低温時や凍った芝地へは施肥しないでください。

[施肥量]

1㎡あたり 施肥量	1ボトル(1kg) あたり 施肥面積	1㎡あたり 希釈液の散布量					
		60mlの場合		100mlの場合		500mlの場合	
		倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量
0.1g	10,000㎡	600倍	1.66kg	1,000倍	1kg	5,000倍	0.2kg
0.2g	5,000㎡	300倍	3.33kg	500倍	2kg	2,500倍	0.4kg

注意: 必ずお試しのうえ、お使いください。

⚠ 注意

- 食べ物ではありません。食べないでください。
- 飲食物、動物の餌の近くに置かないでください。
- 子どもの手の届かないところ、ペット類が触れないところに保管してください。
- 目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。また、製品及び希釈液が体や肌についた場合も、すぐに水で洗い流してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 施肥量、施肥濃度は目安ですので、お試しのうえお使いください。
施肥量、施肥濃度は芝生の種類、生育状況、気象条件、用土、灌水方法、踏圧などにより異なります。
- 高温時や日照が強い時の施肥は避けてください。
- 製品の性質上、幾分色合いがことなったりすることがあります。
- 使用後はタンク、ホース内等をしっかり洗浄してください。
- 希釈液は使い切り、希釈液での保管はしないでください。
- 40℃を超える場所には置かないでください。
- 開封後は密封し、直射日光や湿気を避けて、冷暗所に保管してください。また、開封後は6ヵ月以内になるべく使い切ってください。
- 農薬と混合すると化学変化を起こすことがありますので必ずお試しのうえ、安全を確認してからお使いください。
- 「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混合は行わないこと。
- 強いアルカリ資材(石灰類など)とは、混合しないでください。
- 使用済みのボトル、使用残りの中身は放置せず適切に廃棄してください。



発売元

株式会社 ハイポネックスジャパン
グリーン&ケミカルチーム

<https://www.hyponex.co.jp>

本社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-1-9

TEL 06-6396-0801